

2023年9月末現在

事業所数	20社
被保険者数	1,564人
被扶養者数	1,539人

# すゝやん

## No.160 2023

### 神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

# 5年ぶり経常赤字に

## 2022年度収支決算概要

2022年4月1日～2023年3月31日（単位：千円）

	当期実績	当期予算	予算対比	前年実績	前年対比
<経常収入>	1,004,343	1,009,666	99.5%	1,015,775	98.9%
健康保険収入	995,589	1,000,766	99.5%	1,007,794	98.8%
保健事業収入	4,096	4,545	90.1%	3,664	111.8%
雑収入ほか	4,658	4,355	107.0%	4,317	107.9%
<経常支出>	1,015,284	1,107,099	91.7%	967,955	104.9%
事務費	46,110	49,422	93.3%	43,460	106.1%
保険給付費	451,713	480,240	94.1%	385,066	117.3%
納付金	480,531	533,629	90.0%	503,902	95.4%
保健事業費	32,136	38,741	83.0%	30,899	104.0%
その他	4,794	5,067	94.6%	4,628	103.6%
<経常収支>	-10,941	-97,433		47,820	
経常外収入	72,786	140,119		75,535	96.4%
経常外支出	14,558	42,686		13,978	104.1%
最終収支	47,287	0		109,377	43.2%

## 2022年度介護勘定収支

	当期実績	当期予算	予算対比	前年実績	前年対比
収入	153,923	154,354	99.7%	156,721	98.2%
介護保険料	151,029	151,454	99.7%	151,460	99.7%
繰越金	2,894	2,894	100.0%	5,261	55.0%
その他	0	6	0.0%	0	
支出	146,725	154,354	95.1%	153,811	95.4%
介護納付金	146,691	148,305	98.9%	153,805	95.4%
保険料還付金	34	50	68.0%	6	566.7%
その他	0	5,999	0.0%	0	
収支	7,198	0		2,910	247.4%

## 健保組合22年度決算

神戸新聞健康保険組合の2022年度収入支出決算は経常収入10億434万円に対し支出は10億1528万円となり、1094万円の経常赤字となった。保険料率を改定した18年度以降は経常黒字を続けてきたが、5年ぶりに赤字を計上した。コロナ禍に伴って抑制されていた医療費がコロナ前の水準に戻ったことが要因。経常外の補助金、交付金収入などを含めた最終収支では4728万円の黒字となり、全額を別途積立金に繰り入れた。収支決算は7月25日の組合会で審議され、全会一致で承認された。

## 医療費 コロナ前の水準

### 収入

経常収入の大部分を占める健康保険収入は9億9558万円（前年比122.0万円減）。保険料率を9.0%から9.5%に引き上げた18年度以降、10億円台を維持してきた保険料収入が、被保険者数減少の影響が大きく大台を割り込んだ。

基礎数字でみると平均標準報酬月額額は5万8353円（同5151円増）、総標準賞与額は6億189万円（同1091万円減）、平均被保険者数1617人（同40人減）。

ちなみに年度末（3月末）時点の被保険者数は1582人とさらに減っており、今後大幅な収入減が懸念される。経常外収入7278万円には予算策定段階での赤字を補うため、別途積立金から引き出した3000万円が含まれており、実質的な最終黒字額は1728万円。

# 今後の収支見通し厳しく

保険料率、経常収支の推移（金額単位は1000円）

	保険料率	経常収入	経常支出	経常収支
2013	7.7	867,576	1,023,958	-156,382
2014	8.1	902,500	945,303	-42,803
2015	9.0	994,145	932,838	61,307
2016	9.0	992,085	1,016,975	-24,890
2017	9.0	991,000	1,084,252	-93,252
2018	9.5	1,034,141	845,125	189,016
2019	9.5	1,038,094	965,395	86,750
2020	9.5	1,029,156	795,008	234,148
2021	9.5	1,015,775	967,955	47,820
2022	9.5	1,004,343	1,015,284	-10,941

## 保険料率は9.5%維持へ

22年度決算を審議した組合の終了後、健保組合の保険料率検討委員会が開かれ、今後の財政見通しについて事務局より報告があった。

収入面の基礎数字の一つである被保険者数に関して、年間平均数で見ると21年度は1657人（前年比2.0%減）、

### 支出

被保険者や被扶養者の医療費に当たる保険給付費は4億5171万円（前年比6664万円増）。コロナ禍の影響を受けた20年、21年は3億円

の低い額となったが、今回決算では19年の4億3002万円を上回り、コロナ前の水準に戻ったといえる。

医療費の内訳は、家族を含めた療養費が3億454万円（前年比4261万円増）、薬剤費が9742万円（同1354万円増）。

納付金をみると、前期高齢者納付金は2億5277万円

（同109万円減）、後期高齢者支援金が2億2776万円（同123万円減）。

保健事業費に関しても3213万円（同123万円増）とコロナ前の数字に戻った。

人間ドックの受診件数回復に加えて特定保健指導の参加者が増加したことによる。

22年度1617人（同2.4%減）と減少幅が拡大し、23年度はさらに減少が見込まれる。

平均標準報酬月額や賞与総額の伸びも見込めず、支出面は高齢化の加速に伴って増額見通しで、収支では赤字が続く可能性が高いということが説明された。

ただ、現状は別途積立金が過去最高の9億3360万円あり「直ちに保険料率を引き上げることにはせず、それを取り崩しながらの運営を続ける」と表明。24年度に關しても「現状の料率9.5%を維持」という方針も併せて示された。

### 介護保険

介護保険勘定は収入1億5392万円（同279万円減）、支出は1億4672万円（同708万円減）。収支の残金は719万円、全額次年度への繰越金とした。

一割から割り当てられた22年度の介護納付金見込み額は1億4830万円（同719万円減）。見込み額が減ったことを受け、介護保険料率を前年の1.80%から0.02ポイント引き下げ、1.78%とした。この結果介護保険料収入は1億5102万円、介護納付金支出は1億4669万円となった。

### 健保組合事務所10階に移転

神戸新聞健康保険組合の事務所が9月11日、本社（神戸情文）ビル10階に移転しました。本社ビルの大幅再編に伴うもので、従来の9階から、10階エレベーターホールを出て左奥の位置に変わりました。

### 公告

健康保険法第47条2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2023年9月30日現在の平均標準報酬月額を、次のとおり公告します。

平均報酬月額31等級530,000円

退職後、任意継続者として神戸新聞健康保険組合に加入されている方は、平均標準報酬月額または本人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で保険料を算出します。適用は2024年4月からです。

以上



選 定 議 員	理事長	大国 正美	神戸新聞社常務取締役
	専務理事	井上 隆	神戸新聞健康保険組合
	常務理事	柴田 大造	神戸新聞社取締役総務局長
	理事	小本 淳	同 編集局次長
	監事	南部 雅一	同 財務局長
	議員	地道 克礼	同 総務局次長
	議員	西村 博行	同 メディアビジネス局次長
	議員	鴨川 泰典	サンテレビジョン常務取締役
互 選 議 員	議員	桜井 太	神戸新聞総合印刷取締役
	理事	安藤 文暁	神戸新聞社編集局報道部
	理事	秋山 達範	神戸新聞社デジタル推進局
	理事	高森 亮	神戸新聞社編集局紙面編集部
	理事	吉松 一郎	神戸新聞興産取締役
	監事	藤原 正樹	神戸新聞社財務局
	議員	尾藤 央一	神戸新聞社編集局紙面編集部
	議員	佐藤 敬久	デイリースポーツ編集部
議員	内山 晶	神戸新聞事業社取締役	
議員	森 良治	ラジオ関西取締役	

## 新議員18人決まる

### 定数4人削減

### 任期2年、理事は8人に

任期満了に伴う神戸新聞健康保険組合の議員総選挙が9月21日に行われた。互選議員選挙区の一票の格差是正を図るとともに、被保険者数の減少を受け、今回から議員定数を4人削減し18人としている。互選議員9人は無投票で決まり、選定議員9人も合わせて同日付で就任した。新議員から理事8人(2人削減)と監事2人を選出し、理事長には大国正美神戸新聞社常務取

締役が再任された。新議員、新理事の任期はいずれも2年、2025年9月20日まで。事業主側を代表する選定議員は事業主が選出し、被保険者側の代表となる互選議員は被保険者による選挙で選ばれる。議員による組合会では予算や決算、保険料率などの事を審議する。

## 人間ドック 個人予約7割に

人間ドックの予約が取りづらくなる一方です。人気の受診施設では年内空きなしというケースも少なくありません。健保組合事務局では、人間ドック希望者が受診施設に直接連絡する個人予約を推奨しており、最近では人間ドック予約の約7割が個人予約となり

ました。大きなメリットは希望の時間で空かない時、第2希望、第3希望など受診施設との予約調整がスムーズにできることです。個人予約は日程確定後速やかに健保組合事務局に報告し、事務局から受診施設に再連絡することで正式な予約となります。受診施設も毎年拡充しています。施設の一览や連絡先は健保組合ホームページをご覧ください。

#### <個人での人間ドック予約方法>

- ① 希望する受診施設に申込者が直接連絡
- ② その際、必ず神戸新聞健康保険組合としての予約と伝える
- ③ 予約が取れた場合、確認FAXを健保事務局から送りますと伝える
- ④ すぐに健保組合事務局(078-362-7166)まで連絡
- ⑤ ドック受診申込書に記入の上、事務局に提出
- ⑥ 健保事務局から受診施設に確認FAX送信、正式な予約となる

(注意) 申込書提出の手続きがない場合は人間ドック補助の対象にはならず、受診料は全額、申込者が受診施設に支払うことになります。

#### マイヘルスレポートなど近く配布

節目の年齢を控えた39歳、49歳、59歳の被保険者に、春の定期健診結果をもとにした「健康レベル」を示し、今後の健康づくりに役立ててもらおうという「マイヘルスレポート」を近く配布します。

女性の被保険者を対象にした乳がん自己検診手袋「プレストケアクラブ」、処方された薬品をジェネリック薬品に切り替えた場合、自己負担に年間3,000円以上の差額が生じる人に向けた「ジェネリック差額通知書」のお届けも例年通り12月~1月に行います。